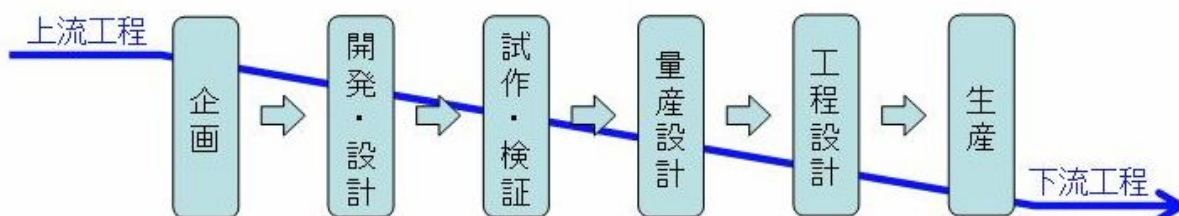


平成20年度文部科学省『産学連携による実践型人材育成事業—ものづくり技術者育成—』に本学の教育取組「川下り方式インターンシップによる産学連携ものづくり実践教育」が採択されました。

【取組概要】

京都工芸繊維大学、京都試作ネット（中小企業群）、京都を代表する製品開発企業、の3者が緊密に連携し、問題解決型デザイン実習とインターンシップおよび講義を有機的に結合することによって、学生が自ら企画設計した「マイ・プロダクト」が形になるまでのリアルなものづくりプロセスを追跡的に実体験する「川下り方式インターンシッププログラム」を開発し、創造性と批判的思考能力を持ち、ものづくりプロセスを多面的・俯瞰的に見通す力を持つ人材を育成することを目指します。

【川下り式インターンシップ】



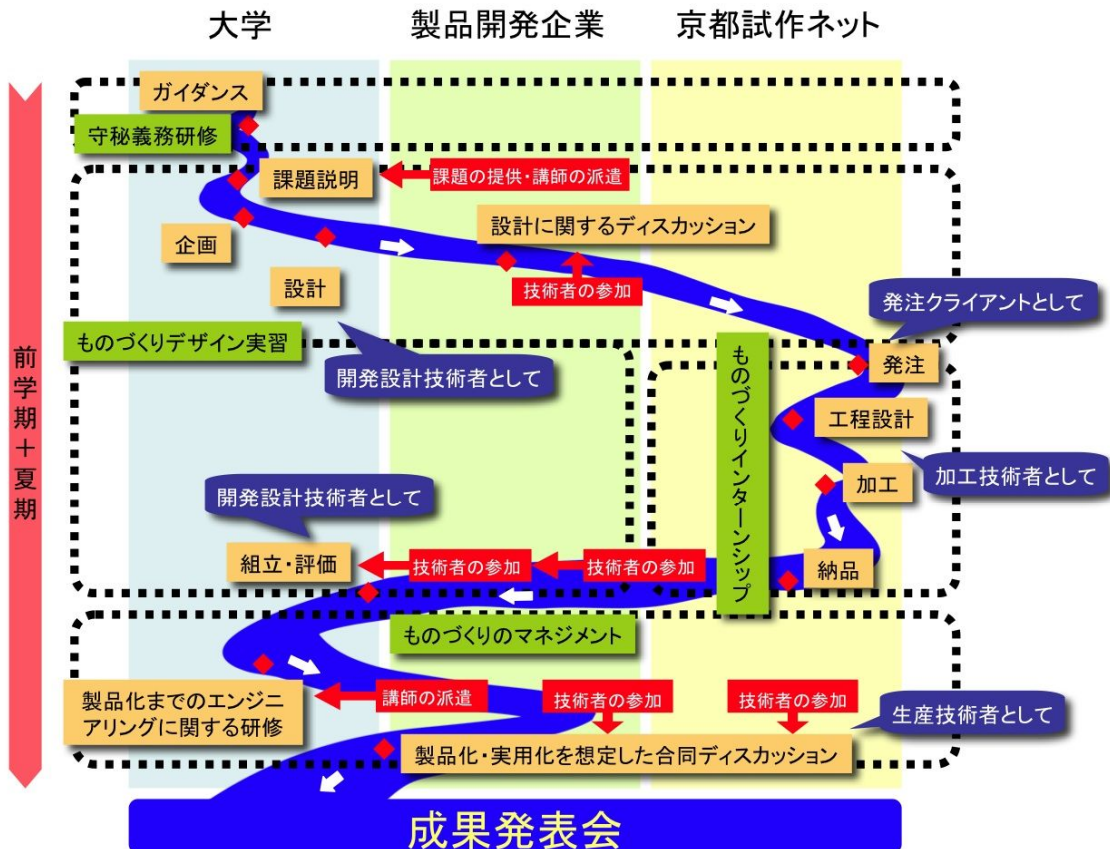
- 与えられた課題を解決する機械や装置(マイ・プロダクト)を企画。
- マイ・プロダクトが形になるまでの全プロセスを「当事者として」モノと情報の流れを追跡しながら実体験。
- マイ・プロダクトという「舟」に乗って、役割(role)と現場(site)を順番にスイッチしながら、ものづくりプロセスという「川」を上流から下流に下っていくイメージ。

【インターンシップ参加企業】

<p>〔製品開発企業〕</p> <p>株式会社島津製作所、日東電工株式会社、村田機械株式会社、株式会社村田製作所、ローム株式会社</p>	<p>製品開発企業として本プロジェクトに参加する。技術アドバイザーとして企業内技術者を派遣し、課題設定への協力、学生への指導を行う。ものづくりのマネジメント講習への講師の派遣を行う。</p>
<p>〔京都試作ネット〕</p> <p>山本精工株式会社、株式会社最上インクス、株式会社秋田製作所、株式会社コーシン、株式会社ナンゴー、株式会社衣川製作所、株式会社楽墨堂、生田産機工業株式会社、株式会社富士精工、株式会社クロスエフェクト、株式会社玉山工業、洲崎鋳工株式会社、株式会社名高精工所、株式会社京都試作工房、株式会社モステック、株式会社キョークロ、川並鉄工株式会社、有限会社日双工業</p>	<p>中小加工企業群として本プロジェクトに参加する。「マイ・プロダクト」の加工製作を受注すると同時に、それを設計した学生をインターンとして受け入れる。</p> <p>マイ・プロダクトの加工工程を利用した実習やディスカッションによって学生の指導を行う。</p>

【教育プログラムの具体的内容】

本プロジェクトで開発する「川下り方式インターンシッププログラム」は、[機械工学分野またはプロダクトデザイン分野](#)の専門教育を受けた3年次学生を対象とする半年間のプログラムであり、京都工芸繊維大学、京都地区の製品開発企業および京都試作ネットが緊密に連携して実施するものである。本プログラムは、下図に示すように「守秘義務研修」「ものづくりデザイン実習」「ものづくりインターンシップ」「ものづくりのマネジメント」の4パートからなる。



【プログラムの特徴と教育効果】

- ものづくりの流れに沿って、役割と現場をスイッチしながら複数の立場を体験。
- 視点の違いを理解することにより、ものづくりプロセス全体を見通す能力を得る。
 - ✓ 知識を問題解決につなげる工学センス
 - ✓ 「創造的であること」への尊重の念
 - ✓ 複数の視点から検証する批判的思考能力
 - ✓ 技術コミュニケーション力

ものづくりプロセスの全体を見通す能力を持つ俯瞰的人材の育成を目指す。

【「産学連携による実践型人材育成事業－ものづくり技術者育成」とは】

大学等での技術者教育において、ものづくりに関する技術教育を充実させることを目指し、これまで主に行われてきた理論の修得を目的とした講義中心の教育ではなく、地域や産業界と連携した実験・実習と講義の有機的な組合せによる教育プログラムの開発・実施を通じ、ものづくり分野を革新させる高度な知識及び確かな技術を併せ持ち、ものづくり課程の全体を見渡し、技術の目利きをすることのできるものづくり技術者を育成するためのプログラムの開発及びそれをもとに教育を実施するプロジェクトを対象として募集する。

- 事業規模及び採択予定件数 1千5百万円程度（3年間継続）、5件程度採択